

令和元年度 担い手との意見交換実施状況

公益財団法人滋賀県農林漁業担い手育成基金

No	月・日	開催場所	会議名等	内容、担い手からの主な意見	対応方針等	参集者 出席者数
1	4月16日	東近江市新宮町 集会所	売買に伴う集積について	農地の売買による集積・集約化を図りたい。	農業経営基盤強化促進法第18条第3項第2号の組合員特例により、法人への集積を図ることとした。	集落営農型農業 法人等 15名
2	5月10日	高島窓口	高島市新旭町饗庭五十川 地区の農業の将来につ いて	地区内で耕作しているが、今後5年が営農を 続けられる限度と考えている。この時農地を 返すことになるが、地区の将来の農業を何と かしたい。	五十川地区の関係者で、将来の地区の方向性を 検討する場を設けることとした。	認定農業者
3	5月12日	高島市安曇川町 三重生区集会場	三重生地区の農地整備事 業検討会	農地整備事業を活用した集積・集約化を図り たい。	農地中間管理事業の活用とともに、人・農地プ ランの実質化にも取り組むよう誘導した。	認定農業者等 14名
4	5月16日	東近江市下麻生 集会所	下麻生の農地集積検討会	地域の農地の集積を図りたい。	農地中間管理事業を活用するよう指導。	集落営農型農業 法人等 20名
5	6月21日	彦根市本庄町集 会所	本庄町の農政部役員との 意見交換会	大規模農家と小規模農家との共存について協 議。併せて、集積に必要な賃料の統一 (一括で変更)を図りたい。	集積・集約化を進めるにあたり、大規模農家と 小規模農家が共存共栄できるよう調整を進め る。 また、効率的に賃料が変更できるよう、賃料を 一括で変更する方法を検討する。	認定農業者等 10名
6	6月24日	高島窓口	高島市安曇川町青柳の将 来の農業について	農地整備事業の取組が難しくなった。将来の 地域農業をどうすればよいか。	農地中間管理事業を活用しながら、耕作者間の 集約を進めることとした。	認定農業者
7	6月24日	高島窓口	高島市安曇川町下小川の 将来の農業について	将来の地域の農業に不安を持っている。	耕作条件改善事業の検討を行うこととした。	認定農業者
8	6月27日	法人の事務所	長浜市西浅井地区の受け 手農家の育成について	集積や農地中間管理機構への貸付けが低調な 西浅井地区における今後の集積の進め方につ いて意見交換。	借り受けの申し込みが少ないので、まずは担い 手に農地中間管理事業を理解してもらい、借受 申込みに応募されるよう誘導する。	認定新規就農者 (農業委員)
9	7月8日	高島市役所	高島市新旭町五十川の農 業検討会	地区内の主たる耕作者(28ha)が近い将来リ タイヤする。今後の地域農業について集落で 検討したい。	農事組合長に集落集会の設定を依頼する。	認定農業者等 4名
10	7月11日	米原市山東公民 館	令和元年度ブロック別会 議(山東・伊吹)	地域のほ場は条件が非常に悪く、平場の様な 集約化は困難。 これまで手を入れてきた愛着のあるほ場を交 換するのは難しい。	人・農地プランの実質化の取組を基に地域の話 し合いを推進する。	認定農業者、集 落営農型農業法 人等 34名
11	7月17日	米原市米原公民 館	令和元年度ブロック別会 議(近江・米原)	今後の集積・集約化は、人・農地プランの検 討の中で進めるべき。 担い手にとっての課題は、人材育成。	引き続き、人・農地プランの実質化の取組を基 に地域の話し合いを推進する。	認定農業者、集 落営農型農業法 人等 35名
12	8月8日	湖北窓口	米原市近江地区の農業の 将来について	集積・集約化が進むほどに地主は農地に興味 を失っている。担い手だけでは畦畔や水路の 保守を行うことは困難。	農地を守るためには、地主の協力が不可欠であ ることを、関係機関で啓発する。	認定農業者
13	8月10日	東近江市下麻生 集会所	下麻生の農地集積検討会	地域の農地の集積を図りたい。	次年度、農地中間管理事業の活用を進める。	集落営農型農業 法人等 20名
14	8月16日	東近江市永源寺 ファーム事務所	永源寺地域の農地集積に ついて	地域の農地の集積を図りたい。	農地中間管理事業の積極的な活用を進める。	認定農業者等 8名
15	9月30日	JA滋賀蒲生町	農地交換検討会	将来の経営安定のために、農地交換による集 約化を図りたい。	受け手交換による集約化を進めることとなっ た。	認定農業者等 5名

16	10月2日	高島窓口	新規就農者の規模拡大相談について	高島市新旭町針江地区で規模拡大したい。	集落の人・農地プランの話合いに加わることで、JA新旭町との連携の必要性を伝えた。	認定新規就農者
17	10月10日	甲賀市土山町鮎河	農地集積検討会	農地集積を推進したい。	利用権設定ができていない農地など、現状把握から進めていくこととした。	集落営農法人等 14名
18	10月23日	愛荘町安孫子公民館	安孫子の農業について	今後の農地の集積・集約化を進めるにあたっては、人・農地プランの活用と、土地改良施設の整備が必要。	人・農地プランを話し合いを進めるとともに、重点実施区域に設定し土地改良施設の整備を進めることとした。	認定農業者等 15名
19	10月24日	高島窓口	経営移譲について	(高島市今津町酒波地区の担い手農家) 息子へ経営移譲するに当たって機構を活用したい。	人・農地プランの実質化にも参画するよう指導した。	認定農業者
20	11月13日	愛荘町軽野公民館	軽野の将来の農業について	農地の集積・集約化を進めたい。	人・農地プランを話し合いを進めるとともに、重点実施区域に設定し土地改良施設の整備を進めることとした。	認定農業者等 15名
21	11月13日	高島窓口	高島市鴨の法人化について	法人化を進めたい。	関係機関で協議し、年内に取組方針を決めることとなった。	中心経営体
22	1月22日	高島市役所	高島市今津町中ノ町法人設立検討会	集落営農型農業法人設立と併せて農地中間管理事業を活用したい。	令和3年1回目の農地中間管理事業への貸付申出に向け、法人設立準備と入作者の協力取り付け等を進めていくこととした。	集落営農組織 (将来法人化予定) 等 4名
23	1月23日	高島窓口	高島市新保における農地整備事業の推進について	農地整備事業に合わせて農地の再集積を行いたい。	農地中間管理事業の活用と、農地集積の目標について県と調整することとした。	認定農業者等 2名
24	1月27日	高島窓口	高島市今津町伊井における集積について	農地の集積・集約化に向けた取組を進めたい。	農地中間管理事業を活用する方向で取組を進めることとした。	認定農業者等 2名
25	1月27日	高島窓口	安曇川町田中地区の農地整備事業の推進について	地域(7集落)における農地整備事業の取組状況と機構事業の活用について意見交換。	引き続き農地中間管理事業を活用した集積を目指す。	認定農業者等 4名
26	1月29日	JAレーク伊吹	農地中間管理事業と円滑化事業の統合一体化検討会	農地利用集積円滑化事業の一括承継について意見交換。	一括承継の際に物納を金納に変更する。具体的な取組は、JAと農家で検討される。一括承継の方法については、機構が県・JA中央会と協議し3月中に決定したい。	認定農業者等 22名
27	2月5日	高島市今津町梅原	梅原の農地集積検討会	農地整備事業に併せて農地の集積を推進したい。	農地整備事業の取組と同時に、人・農地プランの実質化と農地中間管理事業の活用に取り組む。このため、今後、地権者に協力要請することとなった。	認定農業者等 10名
28	2月6日	JA東びわこ稲枝支店	JA東びわこ稲枝受託者組合意見交換会	農地利用集積円滑化事業の一括承継に伴う課題について意見交換。 円滑化事業では、賃料を農業委員会発表のデータに応じて自動的に変更してきたが、機構に一括承継後も対応可能か。	一括承継した後、農業委員会発表の平均賃料に応じて賃料を自動で変更可能か不明。機構で検討すると回答した。	認定農業者、農業法人等 25名
29	2月19日	高島窓口	高島市安曇川町北船木の集積について	人・農地プランの検討と併せて農地中間管理事業に取り組みたい。	市役所と協議するため、早急に市に働きかけることとした。	認定農業者等 2名
30	2月19日	高島窓口	高島市マキノ町浦の農地集積について	農地整備事業と併せて農地中間管理事業に取り組む、農地を集積したい。	耕作条件改善事業の申請状況を確認した上で、今春の機構への応募に向けて準備・調整を行うこととした。	中心経営体等 2名
31	3月2日	県高島農業農村振興事務所	高島市マキノ町浦の農地集積検討会	担い手確保のため、農地整備事業と農地中間管理事業の活用に取り組みたい。	農地整備事業と農地中間管理事業の連携を図るため、関係機関および集落で情報共有を行ったうえで協議を進めることとした。	認定農業者等 8名
32	3月9日	湖南市役所	湖南市石部町の農地を考える会	未整備田の農地を今後どう管理していくのか検討したい。	所有者等の意向把握を進めることとした。	認定農業者等 10名